

過激に遊ぶ!!! パソコン&ゲームマシン実験室

ゲームラボ5月号
2001年5月1日発行
毎月1回1日発行 NO.60
平成10年2月13日第31巻創刊号認可

ゲームラボ

マニアが明かした超絶テク
デジタルコピー最前線

改造コード
PS2 バイオハザード
アイテムすべてゲット

PS スパロボα外伝
ステータスMAX

GB ドラクエモンスターズ2
デバッグモード

GL流電子音楽講座

2001

5

電腦少年のための ツール活用術

第2回: いけいけGOGO/ マイナーなエミュレータ



真ニュース君(1の方)
http://www.uraneews.com/
ネットで役立つ各種ツールの更新速報で有名な「真ニュース/」の記者。ツールの更新が頻繁な昨今、各方面での需要が高い。
http://www.uraneews.com/

今回は「チビッコなラボッ子」にはまったくもってウケないような気がするが、25歳を越えてもこよなくゲームを愛している「大きなラボッ子」にはなんとなく好評な気がする「ゲームウォッチシミュレータ」について書いてみようと思います。現在、ゲームウォッチ市場は「大きいお友達」と「いつまでも子供の心を持ちつづける大人たち」向けに、ある一定の期間ごとに名作を再販しているのですが、これが予想以上に入手が困難なことこの上ないのです。なぜなら「男ひとり、人生に疲れきったサラリーマンがデパートのおもちゃ売り場のゲームウォッチコーナーで新作を毎日チェックする」なんて光景は、考えただけでも「イヤンヤン、私恥ずかしいわ」といった情景であり、会社の同僚に見られたら「子供がいらないのにおもちゃ売り場をウロウロする怪しい会社員」と言うコッ恥ずかしい噂がたつたりするわけでして、そんなことから「再販されるゲームウォッチを入手するのが困難」という結論を僕的に導き出してみたのですがどうですかねえ？



そうすると、ラボッ子的にはお店で恥をかかずにゲームウォッチを入手しようと考えますが、ネットで買おうにも「お母さんからのいつけて通信販売は危ないから絶対ダメ」とか「ネットでクレジットカードなんか使っちゃってハッキングされて100万円くらい使われちゃってインターネットの恐怖、いまココに!!」なんて人もけっこういらっしゃるようです。そこで登場するのがゲームウォッチの「シミュレータ」。エミュレータではなく「シミュレータ」。そのところをお間違いない。

今回は「チビッコなラボッ子」にはまったくもってウケないような気がするが、25歳を越えてもこよなくゲームを愛している「大きなラボッ子」にはなんとなく好評な気がする「ゲームウォッチシミュレータ」について書いてみようと思います。現在、ゲームウォッチ市場は「大きいお友達」と「いつまでも子供の心を持ちつづける大人たち」向けに、ある一定の期間ごとに名作を再販しているのですが、これが予想以上に入手が困難なことこの上ないのです。なぜなら「男ひとり、人生に疲れきったサラリーマンがデパートのおもちゃ売り場のゲームウォッチコーナーで新作を毎日チェックする」なんて光景は、考えただけでも「イヤンヤン、私恥ずかしいわ」といった情景であり、会社の同僚に見られたら「子供がいらないのにおもちゃ売り場をウロウロする怪しい会社員」と言うコッ恥ずかしい噂がたつたりするわけでして、そんなことから「再販されるゲームウォッチを入手するのが困難」という結論を僕的に導き出してみたのですがどうですかねえ？

その1 『ドンキーコング』シリーズコンプリート

まずは、ゲームウォッチの代表格「ドンキーコング」のシミュレータから入手してみましょう。「MADrigal's handhelds simulators」にアクセスしてみてください。こちらのサイトは世界ゲームウォッチシミュレーション界のドン「lucantignano」氏が運営している世界最強のゲームボーイシミュレータページでして、ダウンロードコーナーには「バックマン」(Tomy社)や「ドンキーコングJR」なども公開されています。「MADrigal's handhelds simulators」さんが公開されているシミュレータを一覧してみると…

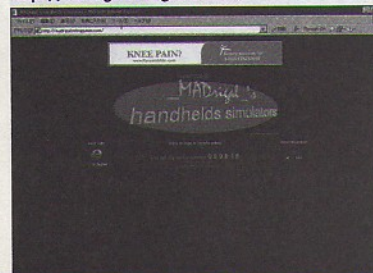
- ・「ドンキーコング」
- ・「ドンキーコング サークス」
- ・「ドンキーコングII」
- ・「スヌーピーテニス(任天堂)」
- ・「ラスベガス(バンダイ)」
- ・「Grab Man」
- ・「Motor Cross Simulator」
- ・「Dungeons&Dragons」
- ・「トムとジェリー」
- ・「Donkey Angler」
- ・「Snoopy-Table Top」
- ・「Mario's Bombs Away」
- ・「Snoopy-Panorama」
- ・「Towering Rescue」
- ・「Turtle Bridge」
- ・「ライフボート」
- ・「Armor Battle」
- ・「Sub Chase」
- ・「ペンギンランド」
- ・「Banana」
- ・「バックマン」

…と、合計21タイトル(01年3月9日現在)を爆裂公開中。「ドンキーコング」シリーズならばここですべてそろってしまう充実ぶりです。

1 さっそくダウンロードして遊んでみるのだ!

MADrigal's handhelds simulators

http://madrigal.retrogames.com/



1 シミュレータの数もさることながら、その使い勝手のよさが魅力。

基本的な使用方法ですが、たいいていのゲームウォッチシミュレータにはメニューが存在していません。また、付属テキストすらない場合があったりします。「MADrigal's handhelds simulators」さんの場合、「Read me」のなかに操作方法が書いてあります。

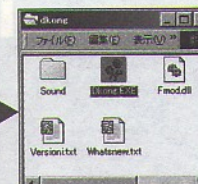
- ・キーボードの「↑↓←→」でキャラの移動(上下左右)
- ・「CONTROL」キーでアクションボタン(ジャンプなど)
- ・「ESC」でゲーム終了

…といったキー設定がされています。ほかのゲームウォッチシミュレータもほぼ同じような設定ですので、1種類でも遊んだことのある人間ならば、2度め以降はまったく問題なく操作できるんじゃないかと思えます。

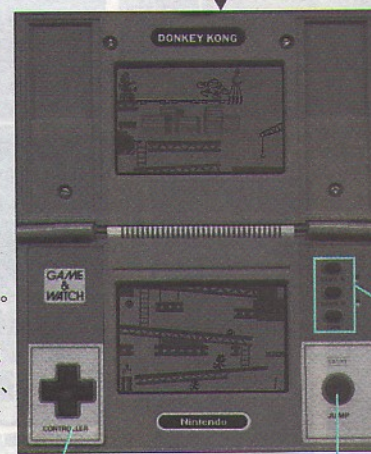
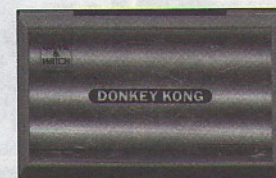
ちなみに注意すべき点はただ1つ、ゲームウォッチシミュレータを終了するときは「ESC」を押してください。メニューがなくキーの組み合わせで終了できない(たいいていのソフトはCtrl+Qで終了しますがね)ので、「Ctrl+Alt+Del」で終了しちゃう人がけっこういるらしいんですよ、マジで。



2 「Download」をクリックすると、ゲームの一覧がノ 充実してますねえ。



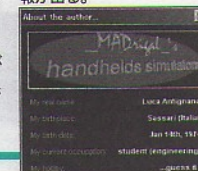
3 zip形式のファイルを落として解凍。exeファイルをダブルクリック。



4 「ドンキーコング」シミュレータが起動。サウンド出力を選んで「PLAY」ボタンを押そう。ちゃんと製品版と同じようなパッケージが現われ、クリックするとフタがあく。…ああ懐かし。

スタートボタン。ここをクリックするとゲームがスタートする。

「F1」を押すとサポート情報が出る。



「F2」を押すと付属のマニュアルが起動。

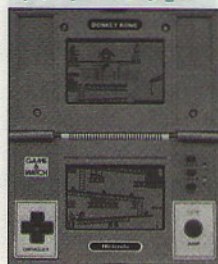


「F3」を押すと「Read me」が起動。



2 これが「MADrigal's handhelds simulators」のラインナップだ!

『ドンキーコング』



GB&Wでもっとも売れた作品であり、名作中の名作。マリオがコングを倒すゲーム。

『Grab Man』



ゲーム内容は「バックマン」と同じで左側からしかエサが取れない。

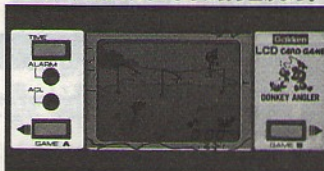
『Dungeons&Dragons』



TRPGの元祖としてTSR社から発売となったもの。これはそのコンピュータ版。

『Donkey Angler』

次々出てくる魚を左右に動きながらタイミングよく、竿を取られないように釣り上げよう。



『ドンキーコングサーカス』



タルに乗ったドンキーコングが落ちてくるパイナップルを手で受け止めるゲーム。

『ラスベガス』



人の落としたコインを拾い、それでビッグスロットに挑戦する。せこいけどおもしろい。



『Snoopy-Table Top』

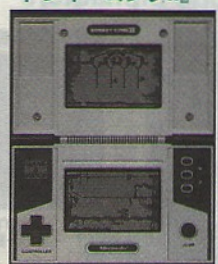
シロネの弾けんパンが放つ音だけをスノーピーがトンカチで叩き割る。

『Towering Rescue』

災害が発生した街でオートジャイロを動かし、ビルの屋上にいる被災者を右側の黒いビルに移動させ救出しよう。



『ドンキーコングII』



『ドンキーコング』の続編。檻に捕まっている父コングを息子が助ける。

『スヌーピーテニス』



スヌーピーがGB&W初登場。スヌーピーとC.ブラウンの打ち合い。表情など豊か。

『トムとジェリー』



トムの投げつけてくる風船爆弾をジェリーに剣を持たせて割るゲーム。

『Motor Cross Simulator』

バイクに乗って各ステージごとに決められたノルマ台数を抜いてゆくゲーム。

『Snoopy-Panorama』



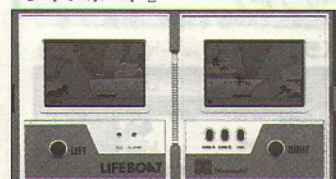
パノラマスクリーンの第一作だが内容はカラススクリーントップ版と同じ。

『Turtle Bridge』

浮き沈みする亀の背中を飛び移りながら、対岸にいる仲間へ荷物を運び届けるゲーム。



『ライフボート』



左右両開きのマルチスクリーンで海外販売のみ。「ファイア」+「パラシュート」のような感じ。

『ペンギンランド』



敵の投げつけてくる爆弾を放り返しつつ、氷ブロックを氷の山に積み上げて彫刻を完成させよう。

『Armor Battle』



日本名では「コンバット」。戦艦を破壊して、地雷を避け、戦艦を破壊して、戦艦を頼りに。

『Banana』



道に落ちていたバナナの皮を棒で押さえることによってそれを踏んだ通行人が転ばないようにしてあげるというゲーム。

『バックマン』

お馴染みのゲーム。しかし、オリジナルの問題なのだが左からしかエサが取れない。



「アーマーバトル」の海上版といったところか。同方とも操作に慣れると夢中になると言われています。

さて、2つめのGBシミュレータサイトをご紹介します。「MADrigal's handhelds simulators」では公開されていないゲームウォッチエミュレータがいくつか置かれている「The New Generation」さんです。

その2: 名作をゴッソリとゲットするのだ!

ここではゲームウォッチ世代には忘れられない「タコ大活躍」な名作ゲームウォッチ「オクトパス」や、「ほうれん草を食っただけでなぜ強くなれるんだ貴様は?」などと男語でツッコミの1つも入れたくなるような名作ゲームウォッチ「ポバイ」など、かなりビッグタイトルのゲームウォッチシミュレータが公開されています。そのタイトルは…

- 「ドンキーコングJR」
- 「マリオブラザーズ」
- 「GreenHouse」
- 「Mario's Bombs Away」
- 「オクトパス」
- 「ポバイ」

- 「マンホール」
- 「Perfect Ball」
- 「Mario's Coment Factory」
- 「Turtle Bldge」
- 「パラシュート」

1 ざっそくアクセス!

「The New Generation」

<http://www.emuunlim.com/handheld/>

トップページからいきなりダウンロードできる。タイトルわけに見えるゲームウォッチをそれぞれクリックしてゲットだぜ!

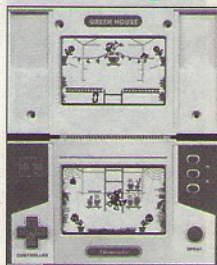


キーボードの使いかた

- ・ESCでゲーム終了
- ・「F1」「GAME A」ボタン
- ・「F2」「GAME B」ボタン
- ・「F3」「Time」ボタン
- ・アクションはおもにキーボードの「A/L/P/Q」を使う

2 これが「The New Generation」のラインナップだ!

『GreenHouse』



殺虫剤を使って尺取り虫やクモなどの害虫からきれいに咲いた花を守りぬくゲーム。

『ドンキーコングJR』



コングの息子が父を助けるのは「〜I」と一緒だがゲーム自体の内容は異なる。

『パラシュート』

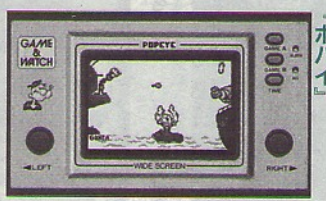


ヘリコプターからパラシュートで降下してくる人々をボートで受け止める伝統的一作。

『マンホール』



ふたがあいていることも知らずに突進してくる人々が穴に落ちないようにするゲーム。



ブルーアスの妨害をはねのけて、オリーブが車から放り投げる荷物を受け取る。

『Turtle Bldg』



浮き沈みする亀の背中を飛び移りながら、対岸にいる仲間へ荷物を運び届けるゲーム。



攻撃してくるタコの足をよけながら沈没船に眠る財宝を地上に持ち帰ってくるゲーム。



ジャングルを駆け巡るマリオ。その手には爆弾が…。火をつけられないよう気をつけろ。

『Perfect Ball』



G&W第1弾のゲーム。遊び方は簡単。キャラクターはお手玉方式で球を落とさなければよい。

僕と同じ歳くらいのゲームウォッチ世代ならば『オクトパス』、『マンホール』、『ポパイ』あたりが男の子のハートを「ギュッとつかんで離さない胸キュン」なタイトルなんじゃないでしょうか? ひさしぶりにゲームウォッチシミュレータなんかをダウンロードし胸キュン状態になってしまったわたくし裏ニュース君、早速『パラシュート』をプレイして子供心のエミュレーションなんぞを実行してみました。シミュレーションGO〜!!

閑話休題 当時の風景を振り返ろう!

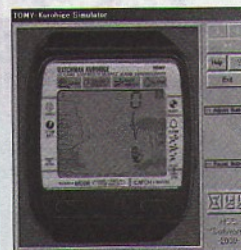
「ゲームウォッチを持っていたあのころ」ってのは非常に思い出深いモノでして、たとえば、当時の小学生のシンボルといっても過言ではないボロボロの半ズボンからゲームウォッチをササッとさり気なく取り出し、「いま、夕方3時半位だね。そろそろオヤツの時間だけど僕の家に遊びにきて食べるかい?」なんて感じにカッチョよく、頼れる男をアピールするための小道具として使用されるなど、当時の子供の必需品だったわけです。その後、ファミコンブームなんかが来たため一瞬にして市場から消えてしまいましたが、その十数年後には「ドンキーコング」は美品ならば1万円、「幻のゲームウォッチ」オクトパス」などと高値で取り引きされたこともありました。

その3: 目指せ! コンプリート!!

さて、最後に紹介するのは上記2サイトでは公開されていないゲームウォッチシミュレータのある「Random'64」さんです。こちらのサイトでは…
「黒ひげ危機一髪」(時計型のモノ)
「ファイヤー」
「オイルパニック」
「Casio Heli-Fighter」

といったタイトルが公開されています。まあ、先に紹介した2サイトに比べると「コレだ!!」と琴線に触れるようなビッグタイトルはありませんが、「集めら

子供心に戻りつつ遊んでみよう!



『黒ひげ危機一髪』

ワニや海賊船の攻撃をかわし、女の子をゲットする王道、くろひげ。

火事場のレスキュー隊がビルから飛び降りるをキャッチするといふ面白いゲーム。



『ファイヤー』



『オイルパニック』

同じくキャッチもの。油を受け取らないと火事になってしまうんだから、指の皮もすりむけるって!

『Casio Heli-Fighter』

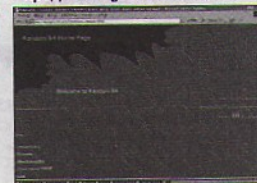
時計にヘリモノシューティングがついたオトクなウォッチ。当時はじつにカッコよかったなあ。



れるものはすべ落せる」電話回線からファイルが流れて来るんだよ!! ほら、今日はこんなにダウンロードしたよ」なんて感じのラポッ子は「目指せ!! ゲームウォッチシミュレータフルコンプリート!」などと思いながらこの記事を読んでいるような気がするんで、とりあえず興味を持ったアニキはこちらのサイトも要チェックかもね(あ、「オイルパニック」はビッグタイトルです)。

「Random'64」

<http://www.geocities.com/SiliconValley/Network/2674/>



左側の「Download section」をクリックして、エミュリストヘジャンプ。

そんなわけで、Yahooオークションなんぞで大枚叩いてゲームウォッチを買い漁っているマニアな人や、先月号のゲームラボを立ち読みし「すげー、パソコンって昔のゲームとかゲーセンのゲームとかできちゃうじゃん。すげーよパソコン、そしてゲームラボ!!」なんて感じにエミュレータの世界にドブハリハマッてしまったマニアな人(今回ののはシミュレータだけど)、子供のころに親に強請りゲームウォッチを買ってきてもうも、開けた包みのなかには「クイズ面白ゼミナール」といった薄っぺらいゲームが入っており、親の体をバンバン叩いて全面的に抗議をするも「あんた、ゲームウォッチが欲しいって言ったんでしょ? 馬鹿なんだから少しでも役に立つものを買ったのよ」などと言われてしまい、心のなかで「これは『ドンキーコング』だ、鈴木健二が出ているような感じがしないでもないが『ドンキーコング』だ!」と何度も自分に言い聞かせながら「クイズ面白ゼミナール」なんかで遊んでいた人は、ゲームウォッチシミュレータを自慢のノートパソコンとか1ギガヘルツオーバーの最速マシンで遊んで子供心に戻ってみるのもよいかもしれません。

